公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

こらいずたかす

○事業所名	児童発達支援事業所 こらいずたかす									
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日				~	令和7年2月7日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)			30名	(回答者数)					22名
○従業者評価実施期間	令和	7年 1月	14日		~	令和 7	年	1月	31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)			5名	(回答者数)					5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 21 日									

○ 分析結果

		事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	1	・専門職(作業療法士、保育士、児童指導 員)を配置しており、専門的な支援ができ	・子ども達の特性や特性により生じてくる 困りごとを解決する手段や対策について、	・職員一人一人が適切な助言を行えるよ う、内部研修や外部研修を受講しスタッフ
	1	ます。	お伝えすることができます。	のスキル向上を図ります。
		・子どもたち一人ひとりの個性や特徴、課	・身辺自立や学習面、集団適応など社会生	・定期的にモニタリングを行い、職員間で
2	2	題に応じた個別支援を提供しています。	活に適応していく力を伸ばすために、一人	意見交換を行う環境にしていきます。
	_		ひとりにあった方法を検討していきます。	

	・保育所訪問支援を実施、巡回訪問支援事	・町立の保育園には、定期的に巡回支援を	・施設と事業所が連携し、情報交換しなが
	業への取り組みを行っています。	実施し、保育所等の職員に対する発達支援	ら取り組んでいきます。
3		の助言、提案を行っています。	
		・乳幼児健診、就学児健診へ参画し協力し	
		ています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	・発達支援事業所、放課後児童クラブ等と	・利用児童の増加やその他の事業などの事	・相互の関係作りとして、研修会や意見交
	の連携・協力が十分ではありません。	業ももうけているため、日数や時間の確保	換を開催していきます。
1		が難しくなっています。	
	・保護者向け、あるいは関係機関職員向け	・令和6年12月に保護者や関係者向けの研	・関係機関との連携をとりながら、情報を
	の研修会や意見交換会などは、十分に開催	修会を行えましたが、意見交換会はできま	交換し開催できるよう検討していきます。
2	されていません。	せんでした。	